

令和元年度 保幼小連携地区ブロック活動報告書

1 地区ブロック名 下川淵 地区ブロック
 今年度のテーマ ポイントとなる姿（ 健康な心と体 ）

2 地区ブロックの組織

- ・山王小学校 ・下川淵小学校 ・下川淵保育所 ・認定こども園上陽保育園
- ・認定こども園山王幼稚園 ・認定こども園しょうび第二幼稚園
- ・祝昌保育園 ・認定こども園たちばな ・認定こども園祝昌第二保育園

3 連携推進活動

| 日 時 | 場 所 | 内 容 |
|-------------------|------------------|-----------------------------|
| 5月16日(木) | 総合福祉会館 | 第1回地区ブロック会議 計画立案・情報交換 |
| 7月6日(土) | たちばな保育園 | 卒園児がたちばな保育園納涼祭に参加 |
| 7月24日(水) | 赤城少年自然の家 | 山王幼稚園・認定こども園たちばな合同 お泊り保育 |
| 7月24日(水) | 下川淵保育所 | 卒園児が夏祭りに参加、園児と交流 |
| 7月25日(木) | 上陽保育園 | 卒園児が夏祭りに参加、園児と交流 |
| 7月26日(金) | 祝昌第二保育園 | 卒園児が夏祭りに参加、園児と交流 |
| 9月21日(土) | しょうび第二幼稚園 | 卒園児が運動会に参加 |
| 9月28日(土) | 下川淵小学校 | 新年度入学児童がかけっこに参加 |
| 9月中旬 | 上陽保育園 | 祝昌保育園園児が運動会予行練習を見学 |
| 10月5日(土) | 上陽保育園 | 卒園児が運動会に参加 |
| 〃 | たちばな保育園 | 卒園児が運動会に参加 |
| 10月12日(土) | 祝昌第二保育園 | 卒園児が運動会に参加 |
| 〃 | 山王幼稚園 | 卒園児が運動会に参加 |
| 10月中旬 | 上陽保育園 | 山王小学校2年生町探索で訪問 |
| 〃 | 下川淵保育所 | 下川淵小学校2年生町探索で訪問 |
| ○10月10日(木) | しょうび第二幼稚園 | 地区ブロック研修会(公開保育・情報交換) |
| 2月下旬～3月上旬 | 下川淵小学校 | 新入学児童に関する情報交換 |
| 〃 | 山王小学校 | 新入学児童に関する情報交換 |
| 3月上旬 | 山王小学校 | 上陽保育園・たちばな保育園年長児学校訪問 |
| 〃 | 下川淵小学校 | 祝昌第二保育園年長児が学校訪問 |
| 〃 | 〃 | 下川淵保育所年長児が学校訪問 |
| 〃 | 山王小学校 | 山王幼稚園年長児が学校訪問 |
| 通年 | 山王小学校 | 祝昌保育園園児が校庭周辺を散策 |

4 令和2年度の代表校園所【 上陽保育園 】

5 これからの保育・教育に生かしたいこと

- ・ 特に運動に関して、ルーティーンにして流れを作ると、40分間の中でたくさんの運動量を確保し、なおかつ、自分たちで考えて行動できる部分が増えると感じ、参考にしたいと思いました。

小学校では一番小さい低学年であれこれ指示を出し、危なくないように至れり尽くせりになってしまいがちですが、自分たちでちゃんと危険回避している姿を見て、やること、流れがわかっただら、ある程度独り立ちさせる方向で活動させることも必要なのかなと思いました。お忙しい中貴重な活動を見せていただきありがとうございました。

- ・ 保育参観では、5歳児の様子を見させていただいて、子どもの発達段階に応じた指導を行い、成長に合った適切な指導の大切さを感じました。苦手なことのある子どもには、個別で指導を行ったり、保護者にも協力していただいたりしながら、できることが増えるように支援を行っていました。

また、言葉による伝え合いでは、自分のことが言えるようになって、さらに相手にも伝えられるようにしていくことが大切であると思います。小学校への入学を踏まえて、いろいろな活動を行っている様子がよくわかりました。小学校だけでなく、保育園や幼稚園などと連携を図ることは、入学した児童や保護者の情報が分かたり、その後の指導に生かすことができたりするため、大切であると思います。

そして、同じ地区の先生方と意見交換・情報交換できて、有意義な時間を過ごすことができました。

- ・ 年長児の体操教室で、鉄棒・なわとびなどに取り組む姿を見せていただきました。自園は、1歳児から入所しているので、ハイハイから体幹作りは始まっているなと思いました。どの年齢、どのクラスでも応用できると感じ、限られた人員・物などの環境の中でできることを工夫して取り組んでいきたいと思いました。1歳児から楽しく運動遊びに取り組み、年長児まで発展させることで、スムーズな就学準備になるのではないかと感じました。

- ・ お忙しい中、貴重なお時間を作っていただきありがとうございました。

しょうび第二幼稚園さんの体操の時間を見させていただき、子どもたちが自分たちで考えて跳び箱を準備している姿がとても素敵だと思いました。子どもたち自身が自分で考えて動けるように、言葉がけや関わりを大切にしたいと思います。いろんな経験を大事にして、楽しく体を動かせるようにしていきたいです。運動面のカリキュラムがしっかりしていて良いなと思いました。

- 自園は未満児しかいないため、未満児で培ったものをどう次の幼稚園や保育園に行った時につなげていくことができるかを知る良い機会となりました。

体操教室では、跳び箱や鉄棒・のぼり棒・縄跳びと、たくさん体を動かして活動をしていたため、とても体力がついている印象を受けました。協議の中で、鬼ごっこをたくさんしているという話があり、これは未満児でも遊びの中で鬼ごっこまではいかななくても、保育者や友達と追いかけてっこなどをたくさんしていきたいと思いました。また、鉄棒や跳び箱ができなくても、経験しておくことが大切という話を聞き、自園でも散歩先の公園で鉄棒にぶら下がるなど、未満児でもできる活動を見付けながら、子どもたちにいろいろな経験ができるよう保育していきたいと思います。
- 今回の研修を通してまず、小学校教諭の意見やその目線での話を聞くことができ、とても新鮮で貴重な経験となりました。10月に入り、各小学校での就学時健診があり、クラスの子どもたちの会話の中で、“小学校”という言葉がよく聞こえてくるようになりました。子どもたちの気持ちの中で、少しずつ“小学校に向けて”意識し始めてきたように感じます。公開保育で見学させていただいた、体操教室などの経験を通して自信がもてたり、自分の思いを伝え子どもたち同士で話し合ったりする機会は、小学校に向けてとても大切であると感じ、保育者としてそういった経験ができる場を設けていきたいと思いました。今回学んだことを、今後の保育に生かしていきたいと思います。
- 自園行事の都合により、今年度の研修は5月に行われた全体会のみでの参加となりましたが、渡邊 俊先生の講義をはじめ、保幼小様々な施設の先生方と情報交換できたことは、とても貴重な時間でした。来年度もぜひ続けていってほしいです。公開保育、授業に参加させていただくことを楽しみにしています。
- 自園の保育を公開し、協議の中でたくさんの意見や感想、講評をいただいたことで、日頃の保育を改めて客観的に見直す良い機会となりました。

10月ということもあり、運動会等を経験して活動がより一層活発になってきているこの時期の年長児が、積極的に運動遊びに取り組み、身体を動かす心地よさや充実感を味わい、また、その中で友達と互いに思いを伝え合いながら、共通の目的に向かって活動を進めることを楽しめるよう、環境や援助を考えてきました。

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を意識しながら、子どもと関わっていくことで、一人一人の発達課題にも向き合って言葉をかけたり、援助したりするうえでの目安も持ちやすくなると思います。

子どもたちの「これから」の成長のために、保育の質を高めていければと思います。